



接続語

チェック

名前

月 日

① 次の『空を飛べる遊園地』を読んで、後の問いに答えましょう。

生駒山の山ちようにある遊園地。この遊園地の飛行とうは高さが三十メートルあり、国内で一番古いものだ。

四つのアームにつり下げられた赤と青のゴンドラが、昔の複葉飛行機の形をしている。



① この飛行機はふわりと持ち上がる時、とうのまわりをぐるぐる回りながら空高く上っていく。

② 目の前に大阪平野が広がり、西の空かなたには遠く大阪湾も見える。

風も心地よく、まるで空を飛んでいるような気分になれるのだ。

(1) この飛行とうはどんな特ちょうがありますか。二つ書きましょう。

・
・

(2) ①と②にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

そして だから すると だが

(3) 乗っている人は、どんな気分になりますか。

② 次の『しおひがり』を読んで、後の問いに答えましょう。

春から夏にすなはまでよく見られる風景に、しおひがりがあります。しおが引いたすなはまで、くま手などを使ってすなの中にもぐっているアサリなどの貝をほり出します。

① この貝の中で、少しおもしろい貝にマテガイがあります。

すなに開けた小さなあなにもぐっています。このあなを見つけたら、塩を一つかみ入れてみましょう。

② おどろいた細長い体のマテガイが飛び出して顔を見せます。これをのさずつかむのがおもしろいのです。

とれたマテガイは、焼いてしょうゆにつけて食べるとおいしいですよ。

(1) しおひがりとは、何をとることを言いますか。

(2) 塩を一つかみ、マテガイのあなに入れると、どうなりますか。

(3) ①と②にあてはまる言葉を□から選んで書きましょう。

① () ② ()

なぜなら たとえば すると また



接続語

ワーク①

名前

月 日

文と文、だん落とだん落をつなぐ言葉を接続語と言います。接続語には、文からどく立して使われるものがあります。(接続詞)

ア 後の文に**予想通り**の結果が続く。

(だから・それで・そこで・すると)

「ご飯を食べた。それから、肉を食べた。」

イ 後の文に**予想外**の結果が続く。

(しかし・けれども・ところが・だが)

「雨がふった。しかし、試合がある。」

ウ 後の文に**ならべ**たり、**付け**たりする。

(そして・また・そのうえ・さらに)

「わたしの好物はすし。そして、焼き肉だ。」

エ 前と後の文でどちらかを選ぶ。

(それとも・または・あるいは)

「**参観日**は母、または、父が来る。」

オ 前と後の文で**理由**や**まとめ**を説明する。

(つまり・すなわち・ようするに)

「ウシは草を食べる。つまり、草食動物だ。」

カ 前の話題から**別の話題**に変える。

(ところで・さて・では・ときに)

「明日は休み。さて、予定はありますか。」



次の□にあてはまる接続語を□から選びましょう。

① 雪がふっている。

、登山は中止だ。

② 雨がふりました。

、試合は続きました。

③ わたしは牛どんが好きだ。

、焼き肉も好きだ。

④ さんかんび参観日には母、

、父が来る予定です。

⑤ ネコは肉を食べる。

、肉食動物だ。

⑥ 明日はお休みです。

、何か予定はありますか。

しかし
さらに
だから

ところで
つまり
または



接続語

おさらい

名前

月 日

次の『との様とタイの塩焼き』を読んで、後の問いに答えましょう。

昔むかし、とてもわがままなどの様がい
ました。

このどの様はタイの塩焼きが大好物で、
他にごちそうがあっても、必ずタイの塩
焼きをほしがるのでした。

① **A**、大好きといっても、ほんの
二、三口はしをつけるだけで、ほとんど残
してしまいます。

② ところがある日、この様はタイの表側
を食べ終わると、家来に言いました。

「今日のタイはとてもおいしい。すぐに代
わりを持ってこい。」

さあ、とつぜんのことに家来たちはおど
ろきました。タイは、この様が食べた一ぴ
きしかなかったからです。

おろおろしていると、一人の家来が
「かしこまりました。すぐにお持ちいたし
ます。」

と言って、タイの乗っているお皿を持って
ろうかに出るなり、すばやくタイをうら返
しました。

③ **B**、そのまま部屋にもどって、
「おかわりを持ってきました。」
と、との様に言ったのです。

「うむ、早かったな。」
何も知らないとの様は、これを新しいタ
イだと思って、二、三口はしをつけると、
「よいよい。このタイは、さっきのよりお
いしいぞ。」

④ と言って、にっこり笑ったということです。

(1) アは、どのような人ですか。

(2) AとBにあてはまる接続語を□から選
んで書きましょう。

A

B

そして また だから しかし

(3) イとありますが、この様はいつもタイを
どうしますか。

(4) ウとありますが、この様がいつもとち
がったところは何ですか。

(5) 一人の家来は、どうしましたか。

(6) との様がにっこり笑ったのはなぜですか。



タコの足の役目

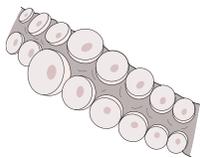
名前

月 日

次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

タコの頭がどこにあるか知っていますか。よく見ると、足のつけ根の近くに目と口があります。足は八本あって、そのすべてにきゅうばんがたくさんついていきます。

このきみょうな足は、タコが生きるうえで、どのような役目を果たすのでしょうか。



⑦ タコの体のほとんどはきん肉でできおり、特に足は強い力を出すことができます。例えば、ミズダコというタコは、サメをしめ上げてころすことさえあります。

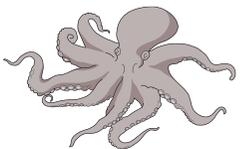
この強い足で、主なえものとなるカニやエビ、貝などをつかまえて、こうらや貝がらをこじ開けて食べるのです。

①、とてもかしく、器用に足を使うことができるので、びんのふたを上手に開けることもできます。このとき、きゅうばんがびんのふたをしっかりとつかむのに役立ちます。

きけんを感じたときは、黒いスミをはいで、すがたをかくしてにげますが、それでもにげられないときは、足を切りはなして身代わりにします。なおその足は、しばらくすると生えてきて元通りになります。

そんなタコには、足以外にも、まだまだきみょうなところがあります。

図かんなどで調べてみましょう。



(1) タコの足の特ちょうを書きましょう。

(2) ⑦ タコの体のほとんどは何でできていますか。

(3) タコの主なえものは何ですか。

(4) ①にあてはまる言葉を□から選んで□に書きましょう。

しかし なぜなら また

(5) ②のとき、何が何の役に立ちますか。

(6) 黒いスミをはくのは、どんなときですか。

(7) ④の切りはなした足はどうなりますか。